慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2016
Jtitle	新版 窮理図解 No.23 (2016. 12) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000023-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の本棚

My favorite books

Operator Algebras

著者の Blackadar とは、私がアメリカに滞在しているときに何度か会いました。私の（たいしたことがない）研究結果を売りこんだところ、この本でちょこっと引用してくれました。本に自分の研究結果が出るのはやはり嬉しいものです。

初学者のための整数論

高校 3 年生の夏に、中高生向けの数学の合宿で読んだ本。何人かで順番に本の内容を発表するという輪講形式で読んだもの。初めて読んだ現代（というより近代?）数学の本であり、素朴な整数の問題と抽象的な数学のつながりが高校生でも（頑張れば）分かるように書かれています。数学の美しさを感じました。

Complex Analysis

大学 1 年生のときに、同学年の友人たちと輪講形式の自主ゼミで読んだ複素解析学の本。初めて英語で書かれた本を読んだので、最初は英語の難しさと数学の難しさの両方で苦労しましたが、そのうちに慣れました。当時は理解が浅く、ついていくのに必死だったのですが、その後理解が深まることで理論の美しさに気付きました。

C*-Algebras and W*-Algebras

修士課程に入って、河東先生のもとでセミナーで読んだ作用素環の本。一緒に読む人がいれば輪講形式になったと思いますが、発表者が私 1 人だったので毎週発表していました。1 人で考えて分からないところは、河東先生のところに行って質問して聞きました。とても親切に答えていただきました。

ヒカルの碁

博士課程を修了したあと、札幌でポスドク生活をしていたときに読みました。この漫画をきっかけに囲碁のルールを覚え、ほそぼそと囲碁をしていました。それが、ここ数年は、長男とともに一番の趣味になっています。

ルベーグ積分入門

大学 2 年生のときに、やはり友人たちと輪講形式の自主ゼミで読んだ本。この本で、数学の美しさだけでなく数学の厳密さを感じました。その経験から、自分には幾何や代数ではなく解析が合っていると思いました。今になって思うと、これは半分当たっていて半分外れている気がします。

Functional Analysis

大学 3 年生のときに、（途中から）1 人で読んだ関数解析の本。自分自身で興味のある本を選んで、自分自身で読んだ初めての数学書です。難しすぎて途中で挫折しましたが、途中まででも 1 人で読んだことは、知識の点でも経験の点でも有意義でした。作用素環論を専門にするきっかけになった本です。